

2-1. 移植・移動の考え方

動植物の保全対策について

- ・ 保全対策は、
回避（繁殖期の回避など）、低減（濁水対策など）、
代償（移植・移動など）の順に検討し実施する。

配慮対象種の選定条件

- ・ 貴重な植物
法令や条例で指定されている種
環境省RDBで絶滅危惧Ⅰ類に指定されている種
北海道RDBで絶滅危機, 危急, 危惧種に指定されている種
- ・ 釧路湿原と関係の深い種（ヨシやスゲ群落など）
- ・ 施工により直接的に影響を受ける魚類等

15

2-1. 移植・移動の考え方

配慮対象種の抽出根拠とした文献一覧を表に示す

資料中略称	正式名称	備考
種の保存法（絶滅法）	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 （平成4年6月5日 法律第75号）	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令 （平成5年2月10日 政令第17号）
文化財保護法	文化財保護法（昭和25年5月30日 法律214号）	以後の文部科学省告示にて、 法に基づき指定
道_希少野生動植物保護条例	北海道希少野生動植物の保護に関する条例 （平成13年3月30日 北海道条例第4号）	以後の北海道告示にて、 条例に基づき指定
道_文化財保護条例	北海道文化財保護条例 （昭和30年11月30日 北海道条例第83号）	以後の北海道教育委員会告示にて、 条例に基づき指定
環境省(庁) レッドデータブック	環境庁自然保護局野生生物課 編 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック -」（財）自然環境センター	分類毎の発行年 1 哺乳類(2002) 2 鳥類(2002) 3 爬虫類・両生類(2000) 4 汽水・淡水魚類(2003) 5 昆虫類(2006) 6 植物（維管束植物)(2000) 7 植物（維管束植物以外)(2000)
北海道（2001） レッドデータブック	北海道環境生活部環境室自然環境課 編（2001） 「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック2001」北海道	

16

2-1. 移植・移動の考え方

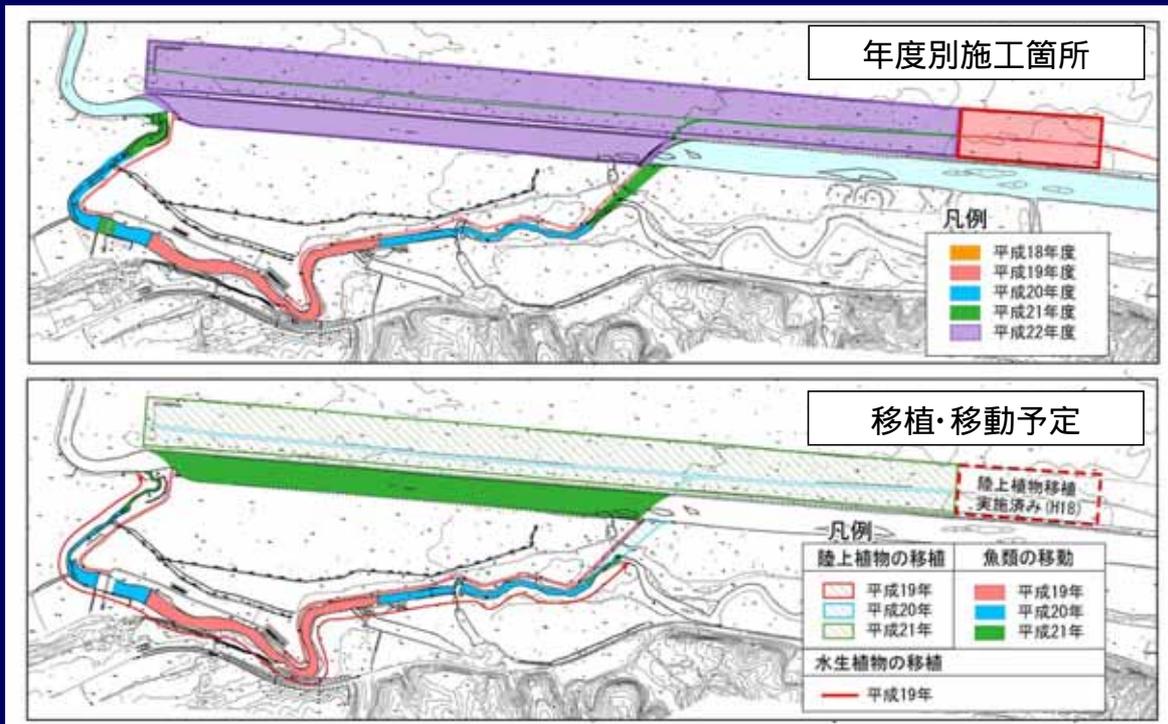
- ・陸上植物の移植は、次年度工事箇所を対象に行う
- ・魚類等の移動は、当年工事箇所を対象に工事直前に行う
- ・水生植物の移植は、旧川掘削工事前のH19に行う

項目	H18				H19				H20				H21				H22				
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
施工工程	仮設工			—			—	—			—					—				—	
	右岸残土撤去 (400m)						—	—													
	旧川掘削						—	—			—	—			—	—					
	直線河道埋戻し 右岸残土撤去																		—	—	
移植・移動時期	陸上植物																				
	魚類等																				
	水生植物																				

17

2-1. 移植・移動の考え方

陸上植物の移植、魚類等の移動、水生植物の移植の予定を図に示す



18

2-2.平成18年度の移植状況(陸上植物)

陸上植物の移植(平成18年10月17日に実施)

< 配慮対象種分布状況 >
 シコタンキンポウゲ、エゾナミキソウが分布

H19年度施工予定地



- < 種の生態的特性 >**
 ・明るい河畔林の林床や林縁に生育する
 多年生草本(エゾナミキソウなど)
- < 移植先の選定条件 >**
 ・種の生育地と同様な環境を持つ場所
 ・保湿性のよい土壌を持つ場所
 ・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所



2-2.平成18年度の移植状況(陸上植物)

移植先



移植方法



移植方法の説明
 小委員会の委員に移植方法を説明



採取した移植株
 バケツ等で個体を傷つけないように移動する



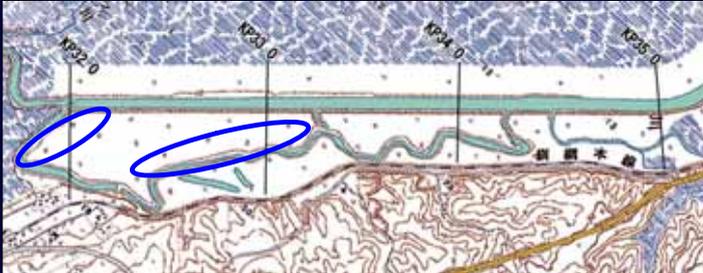
移植・撒水
 穴を掘り、株を入れる
 活着を促すため水をまく

2-3.平成19年度の移植・移動予定(陸上植物)

陸上植物の移植(夏季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>

フクジュソウ、エゾナミキソウなどが分布



注: 仮設道路線形によって影響回避の可能性はある



フクジュソウ



エゾナミキソウ

<種の生態的特性>

- ・湿地に生育する多年生草本(フクジュソウ・オオハリスゲ)
- ・明るい河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(エゾナミキソウなど)

<移植先の選定条件>

- ・種の生育地と同様な環境を持つ場所
- ・保湿性のよい土壌を持つ場所
- ・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所

21

2-3.平成19年度の移植・移動予定(陸上植物)

移植候補地



移植方法



移植株の採取
根茎を傷つけないように
移植ごてにより採取する



採取した移植株
バケツ等で個体を傷つけ
ないよう移動する



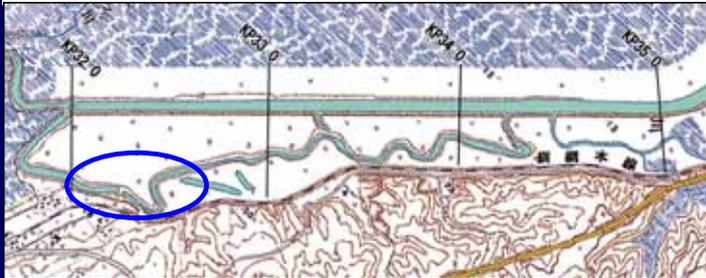
移植・撒水
穴を掘り、株を入れる
活着を促すため水をまく

22

2-3.平成19年度の移植・移動予定(魚類等)

魚類等の移動(秋季～冬季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
ヤチウグイ、キタノトミヨなどが分布



<種の生態的特性>

- ・池沼、小河川等に生育する(ヤチウグイ、キタノトミヨなど)。
- ・河川や湖沼に広く生息(ジュズカケハゼ)など。
- ・これまでに釧路川でも確認。

<移動先の選定条件>

- ・池沼、小河川などと連続性を持っている河川
- ・移動時間が短く、安全に放流できる場所

23

2-3.平成19年度の移植・移動予定(魚類等)

放流場所候補地



作業の安全が確保できる
本川と連結した流れの緩やかな箇所に放流

捕獲・移動方法



バケツなどに入れて
トラックなどで移動



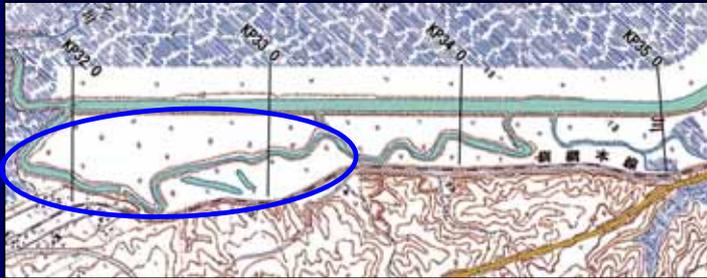
投網やタモ網等を用いて捕獲し、放流する。

24

2-3.平成19年度の移植・移動予定(水生植物)

旧川掘削箇所の水草の移植(夏季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
 ネムロコウホネ、イトモなどが分布



ネムロコウホネ

<種の生態的特性>

- ・止水域に生育する浮葉性の水生植物(ネムロコウホネ)
- ・止水域に生育する沈水性の水生植物(タヌキモ・イトモなど)

<移植先の選定条件>

- ・生育環境に適し、同種が生育していない止水域
- ・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所



イトモ

25

2-3.平成19年度の移植・移動予定(水生植物)

移植候補地



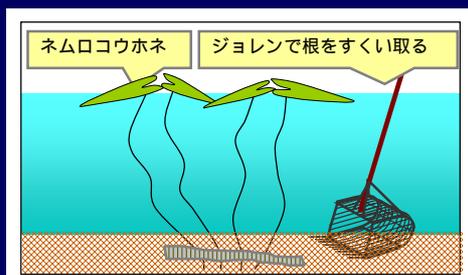
オソベツ川合流点付近

移植先候補の河跡湖



河跡湖の状況

移植方法



ジョレン等で水生植物をすくい取る。
 その後、移植先の河跡湖へ移植する。

バケツ等
 に入れ移植
 地へ移動



移植用の囲い

根が張るまでの間に水生植物が流出しないよう、またウチダザリガニによる活着阻害の防止を図るため囲いを設置し、その中へ移植する。

26

2-3.平成19年度の移植の確認項目

- 平成18年度の陸上植物の移植については、夏期に専門技術者により活着状況を確認して、今後の移植候補地の環境条件の参考とする。

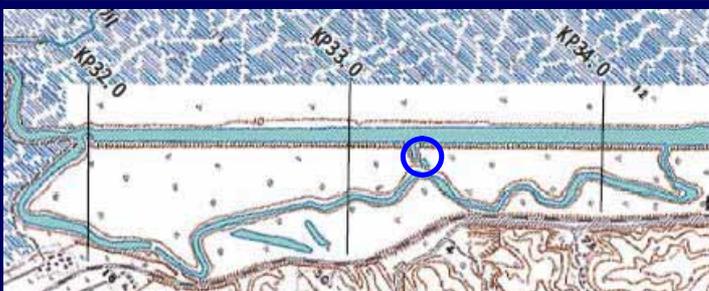


27

2-4.平成20年度の移植・移動予定(陸上植物)

陸上植物の調査・移植(移動は秋季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
クロユリ、エゾナミキソウなどが分布



- <種の生態的特性>
- ・保湿性が高い河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(クロユリ、オオハリスゲなど)
 - ・明るい河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(エゾナミキソウなど)
- <移植先の選定条件>
- ・種の生育地と同様な環境を持つ場所
 - ・保湿性のよい土壌を持つ場所
 - ・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所



28

2-4.平成20年度の移植・移動予定(陸上植物)

移植候補地



移植方法



移植株の採取
根茎を傷つけないように
移植ごてにより採取する



採取した移植株
バケツ等で個体を傷つけないように移動する



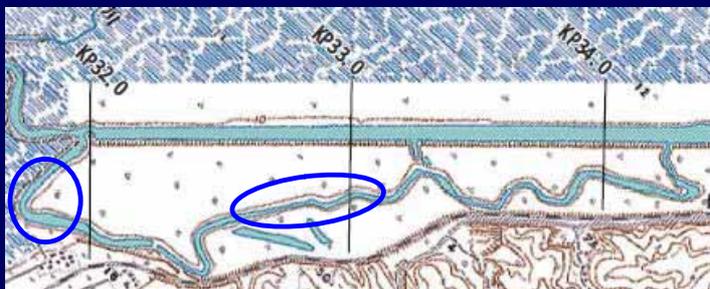
移植・撒水
活着を促すため水をまく

29

2-4.平成20年度の移植・移動予定(魚類等)

魚類等の移動(移動は夏季～冬季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
エゾトミヨ、イトヨなどが分布



<種の生態的特性>

- ・池沼、小河川等に生育する(エゾトミヨ、イトヨなど)。
- ・河川や湖沼に広く生息(ジュズカケハゼ)など。
- ・これまでに釧路川でも確認。

<移動先の選定条件>

- ・池沼、小河川などと連続性を持っている河川
- ・移動時間が短く、安全に放流できる場所

30

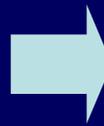
2-4.平成20年度の移植・移動予定(魚類等)

放流場所候補地



作業の安全が確保できる
本川と連結した流れの緩やかな箇所
に放流

捕獲・移動方法



バケツなどに入れてトラックなどで移動



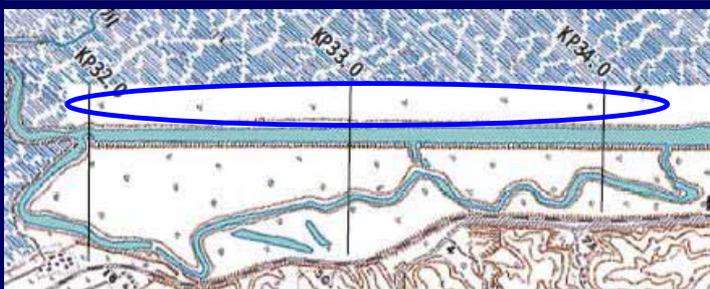
投網やタモ網等を用いて捕獲し、放流する。

31

2-5.平成21年度の移植・移動予定(陸上植物)

陸上植物の調査・移植(移植は秋季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
エゾネコノメソウ・エゾナミキソウなどが分布



エゾネコノメソウ

<種の生態的特性>
・湿地に生育する多年生草本(エゾネコノメソウなど)
・明るい河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(エゾナミキソウなど)
・草原に生育する多年生草本(ノダイオウなど)

<移植先の選定条件>
・種の生育地と同様な環境を持つ場所
・保湿性のよい土壌を持つ場所
・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所



エゾナミキソウ

32

2-5.平成21年度の移植・移動予定(陸上植物)

移植候補地



移植方法



移植株の採取
根茎を傷つけないように
移植ごてにより採取する



採取した移植株
バケツ等で個体を傷つけないように移動する



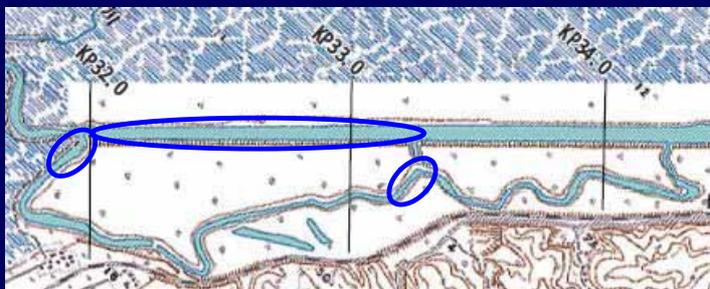
移植・撒水
活着を促すため水をまく

33

2-5.平成21年度の移植・移動予定(魚類等)

魚類等の移動(移動は夏季～冬季に実施)

<現在の配慮対象種分布状況>
エゾトミヨ、イトヨなどが分布



<種の生態的特性>

- ・池沼、小河川等に生育する(エゾトミヨ、イトヨなど)。
- ・河川や湖沼に広く生息(ジュズカケハゼなど)。
- ・これまでに釧路川でも確認。

<移動先の選定条件>

- ・池沼、小河川などと連続性を持っている河川
- ・移動時間が短く、安全に放流できる場所

34

2-5.平成21年度の移植・移動予定(魚類等)

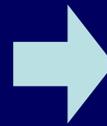
放流場所候補地

○ 平成21年度夏～秋季
○ 平成21年度 冬季



作業の安全が確保できる
本川と連結した流れの緩やかな箇所に放流

捕獲・移動方法



バケツなどに入れてトラックなどで移動



投網やタモ網等を用いて捕獲し、放流する。

35

2-6.平成20年度以降の移植の確認項目

- 陸上植物・水生植物・ヨシの移植については、移植後、後年次に専門技術者により活着状況を確認して、今後の移植候補地の環境条件の参考とする。



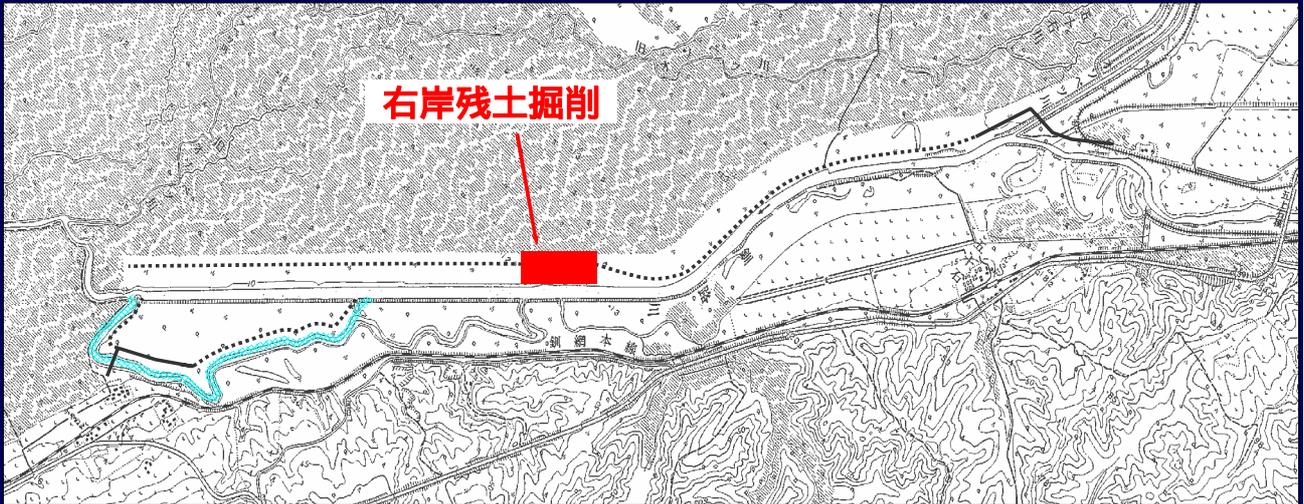
注) 魚類については、放流のみとする。

36

2-7.掘削箇所の裸地対策

平成19年度右岸残土掘削による土砂流出防止のためヨシを移植

その他の効果：周辺への種子供給が期待できる
他の植生の繁茂を防止



37

2-7.掘削箇所の裸地対策

右岸残土は直線河道掘削前の地盤高程度まで掘削



ヨシ群落箇所を掘削。ヨシの根を含む表土とそれ以外に分けて掘削

38

2-7. 掘削箇所の裸地対策



表土についてはプール状の窪地の縁に敷均す。その他は他工事へ流用。



移植方法の詳細は今後検討し、専門家と相談し決定していく。

39

2-8. 地域との協働

捕獲・放流、移植作業は地域と連携して行う



40